学校番号	３０２４

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	５	年次	１年次
使用教科書	「国語総合　現代文編［改訂版］・古典編［改訂版］」（三省堂）						
副教材等	「体系古典文法」（数研出版）、「必携　新明説漢文」（尚文出版）　等						

1　担当者からのメッセージ

・3 年生で希望するどのような進路にも対応できる国語力の基礎を作るのは 1 年生の段階です。
・現代国語で身につけたい力は、まず、他者が話したり書いたりする意見を正確に聴く・読む力です。他者の意見を理解し自己の見識を高めることが、自分自身の意見を述べたり書いたりする能力につながっていきます。また、読み解くための基礎力となる知識を増やしましょう。
・古典の文章は先人から受け継いだ文化のエッセンスです。そこには普遍的な人間の感情や知恵が豊かに盛り込まれています。ぜひ古典という文化を通して人間や物事を見る視線を深めてください。正確な読み取りのために、語彙や文法などの知識を身につける必要があります。
・グローバル・リーダーをめざす人として、日本の文化とその背景を理解し、現代世界における問題を把握する見識を身につけてほしいと思います。
・現代国語も古典も予習として本文を真剣に読み、下調べをしてください。また、授業後の復習・その場限りではない自主的な家庭学習が力の定着のために絶対に必要です。また、高校生として自己管理をきちんと行い、提出物などの期限は必ず守ってください。

2　学習の到達目標

・文章を読み他者の意見を聴いて、その内容や構成・そこに含まれる心情を理解することができる。
・自分が理解したことを的確にまとめて話す・書く力をつける。
・独善的ではない論理的な自己の意見を育て、それを話す・書く力をつける。
・上記に必要な語彙や表記上の知識を豊かにする。
・伝統的な言語文化に対して知識や関心を深め、国語を尊重しその魅力を発信できるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	他者の思考の跡を真剣に理解しようとしている。言語文化に対して自己の理解を深めようとしている。	聴いた他者の思考を的確に理解し、それに対して自己の意見を深め伝えている。	作り上げ深めた自己の意見を文章という形で構成を意識して書いている。	文章を的確に読み取り、それをもとに視野を広げ自己の見識を深めている。	語彙・漢字・伝統的言語文化について理解し、必要な知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等の評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 発表内容の確認 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論Ⅰ	教材 「ありのままの世界は見えない」	○			◎	○	a「世界」の「見え方」の違いについて、事例を通して考えようとしている。 d 引用事例に着目し、筆者の主張を読み取っている。 e 各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。	a 行動の観察 d,e 記述の確認及び定期考査
		教材 「水の東西」	○			◎	○	a 日本文化に対する関心を持とうとしている。 d 日本と西洋の見方という対比構造を把握し、内容を読み取っている。 e 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a 行動の観察 d,e 記述の確認及び定期考査
	小説Ⅰ	教材 「羅生門」	○		◎		○	a 人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、人間の生き方について意見を持っている。 c 小説の末尾から受ける印象について、自分の考えをわかりやすく記述している。 e 難しい漢語など、普段なじみのない語句について、注や辞書を手がかりにして、その意味を理解している。	a 行動の観察 c 記述の確認及び点検 e 記述の確認及び定期考査

	評論Ⅱ	教材 「ものとことば」	○	◎			○	a 「ことば」が本質的に持つ「虚構性」について問題意識を持つ。 b ものとことばに関する自身の意見を交わせている。 e 読解に必要な概念を理解している。	a,b 行動の観察 e 記述の確認及び定期考査
	短歌	教材 「その子二十ー短歌二十一首」	○			◎	○	a 短歌を読み味わう態度を身につけている。 d それぞれの短歌について、表現されている情景や感動の中心を読み取っている。 e それぞれの作品の用語・語法・修辞などについての理解を深めている。	a 行動の観察 d,e 記述の確認及び定期考査
	古文入門・随筆／漢文入門・故事成語	【古典】 教材 ・『宇治拾遺物語』の「児のそら寝」・「絵仏氏良秀」 ・『徒然草』の「ある人、弓を射ることを習ふに」・「丹波に出雲といふ所あり」・「名を聞くより」 ・古文法など…歴史的仮名遣い・動詞・形容詞・形容動詞・一部の助動詞 ・漢文句法など…訓読・返り点・再読文字・助字	○			◎	○	a 古典を読む際、進んでその面白みを理解しようとし、また、登場人物の置かれた立場や心情を捉えようとしている。また、随筆の書き手の思考のあとを自分なりにたどろうとしている。 d 予習をしながら教材を読み進め、話の面白さや人物の心情、表現の裏にある思想を正しく読み取っている。 e 古文を読むための基本的な文語の決まりを身につけている。また、漢文の基本を理解している。	a行動の観察 d授業での発表内容の確認及び定期考査 e定期考査・小テスト
2学期	評論Ⅲ	教材 「自然をめぐる合意の設計」	○			◎	○	a 「自然」をめぐる相反する考え方について興味と関心を持とうとしている。 d 「近景/遠景の語り」の相容れなさについて読み取っている。 e 文章の構造を捉えながら理解を深めている。	a 行動の観察 d,e 記述の確認及び定期考査

	小説Ⅱ	教材 「夢十夜」	○			◎	○	a 作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 d 「夢」として構成された作品の意味について考えている。 e 作者や日本の近代文学についての理解を深めている。	a 行動の観察 d,e 記述の確認及び定期考査
	評論Ⅳ	教材 「余暇について」	○	◎			○	a 筆者が述べる「余暇」の内容について理解を深めようとしている。 b「余暇」についての自身考えを、筆者の考えをふまえながら他者と話し合っている。 e 読解に必要な概念を理解し、理解を深めている。	a 行動の観察 d,e 記述の確認及び定期考査
		教材 「マルジャーナの知恵」	○			◎	○	a 筆者が述べる資本主義の本質を理解しようとしている。 d 論理展開に着目して主張を読み取っている。 e 文章の構造を捉えながら理解を深めている。	a,b 行動の観察 e 記述の確認及び定期考査
	和歌・物語・日記	【古典】 教材 ・『万葉集』・『古今和歌集』・『新古今和歌集』の和歌 ・『伊勢物語』の「芥川」・「東下り」 ・『土佐日記』の「門出」・「忘れ貝」「帰京」 ・古文法など…助動詞の完成	○			◎	○	a 和歌の美しい言葉を通して古人の心にふれようとしている。物語や日記の人物の心情や人間関係について、自分にひきつけて読み取ろうとしている。 d 古人の心情や人間関係のあり方を古語や文語文法に即して読み取り理解している。 e 助動詞を中心とした文法の意味を文脈の中で理解できている。	a行動の観察 d授業での発表及び定期テスト e定期テスト及び小テスト

	寓話・史話	・『戦国策』の「借虎威」・「蛇足」・「漁夫之利」 ・『列子』の「朝三暮四」 ・『十八史略』の「管鮑之交」 ・句法など…本文中の句法・用字について学ぶ。	○			◎	○	a 日本の中に溶け込む中国その他の国の文化の存在に興味を持っている。歴史上の人物の存在感に触れようとしている。 d 故事の中にある思考を読み取っている。史話の出来事や人物像を、語句や句法の正確な理解をもとに把握している。 e 漢文読解に必要な句法・用字を理解している。	a行動の観察 d授業での発表及び定期考査 e定期考査及び小テスト
3学期	小説Ⅲ	教材 「富嶽百景」	○		◎		○	a 登場人物の心情の変化について、読み取ろうとしている。 c 作品のタイトルの意味を、「私」の富士山に対する思いの変化と関連させてまとめている。 e 登場人物の心情を、行動や情景描写にも留意しながら読み取っている。	a 行動の観察 c 記述の確認及び点検 e 記述の確認及び定期考査
	評論Ⅴ	教材 「美を求める心」	○			◎	○	a 筆者のものの見方や考え方に興味をもっている。 d 引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の「美」に関する主張を過不足なく読み取っている。 e 読解に必要な概念を理解し、理解を深めている。	a 行動の観察 d,e 記述の確認及び定期考査
	唐代の詩・文章・思想	【古典】 教材 ・詩「静夜思」・「江雪」・「涼州詞」・「香炉峰の下、…」 ・『論語』 ・句法など…唐詩の決まり・本文中の句法・用字	○			◎	○	a 唐詩を味わおうとしている。文章において、論の進め方を適切に把握しようとしている。思想を理解しようとしている。 d 唐詩の規則などの理解もしながら詩を味わっている。句法や用字の正確な理解をもとに、文章の進め方を把握し、そこに表れる思考をとらえている。 e 唐詩・漢文を読むための句法・用字・唐詩の決まりを理解している。	a行動の観察 d授業中の発表及び定期考査 e定期考査及び小テスト

	軍記物語	・『平家物語』の「木曽の最期」 ・文法など…学習した文語文法の総復習・敬語法	○			◎	○	a 躍動感のある文章を味わい、また、効果的に音読しようとしている。作中の人物の関係、おかれている状況や心情、情景などを把握しようとしている。 d 内容の深い理解がうかがわれる音読ができている。敬語法や文語文法の理解に基づいた正確な内容把握ができている。 e 文語の敬語法・助動詞を主とした文語文法、古語が理解できている。	a行動の観察 d行動の観察、授業中の発表の観察及び定期テスト e小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。